

ブライダルチェック（保険証はお持ちください）

基本セット 16800 円（消費税 800 円含）

- 1) 問診
- 2) 尿検査（定性：蛋白、糖、他）
- 3) 超音波（子宮、卵巣） *内診を希望しないときは経腹超音波
- 4) 採血（血液型、梅毒、HIV、B型肝炎、C型肝炎、風疹、クラミジア I g G）
- 5) 指導
 - i) B B T
 - ii) 避妊方法
 - iii) 葉酸
 - iv) B M I
 - v) 妊娠がわかったら（受診時期、アルコール、タバコ）
 - vi) サーバリックス（子宮頸癌）
 - vii) 乳癌健診

オプション

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1) 子宮頸癌健診 | 4200 円（消費税含） |
| 2) H P V | 6300 円（消費税含） |
| 3) 乳癌健診（新エコー＋触診＋指導） | 10500 円（消費税含） |

不正出血やおりものなど症状がある場合は 1) 子宮頸癌健診と子宮、卵巣の超音波は保険を使えることがあります。その時は 12600 円＋保険診療（3 割負担の場合は約 4000 円）となります。

採血

- | | | |
|--------|------------------|-----------------|
| 4) 感染症 | a) 麻疹 | |
| | b) ムンプス（流行性耳下腺炎） | |
| | c) 水痘帯状疱疹 | |
| | d) トキソプラズマ | |
| | 検査 1 件 | 2625 円（消費税含） |
| | 検査 3 件以上は | 2100 円×件数（消費税含） |

- 5) 血液検査 6300 円（消費税含）

貧血、C R P、生化学（肝臓、腎臓、コレステロール、血糖）
糖尿病（H b A1 c）マイクログロブリン抗体

お勧めは 基本セット＋子宮頸癌健診＋感染症（a～d） 29400 円（消費税 1400）

【保険使用時は 21000 円＋保険診療（3 割負担の場合は約 4000 円）】

ブライダルチェック（□にチェックを入れてください）

- 基本セット 16000 円
- 1) 問診 2) 尿検査（定性：蛋白、糖、他）
- 3) 超音波（子宮、卵巣） □内診を希望しないときは経腹超音波
- 4) 採血（血液型、梅毒、HIV、B型肝炎、C型肝炎、風疹、クラミジア I g G）
- 6) 指導①BBT ②避妊方法 ③葉酸 ④BMI
- ⑤妊娠がわかったら（受診時期、アルコール、タバコ）
- ⑥サーバリックス（子宮頸癌） ⑦乳癌健診

オプション

- 子宮頸癌健診 4000 円
- HPV 6000 円
- 乳癌健診（新エコー＋触診＋指導） 10000 円

- 不正出血やおりものなど症状がある ー4000 円
（子宮頸癌健診と子宮、卵巣の超音波は保険を使用のとき） 保険診療分

採血

- 感染症：計 件 1件 2500 円
- 麻疹 2件 5000 円
- ムンプス（流行性耳下腺炎） 3件 6000 円
- 水痘帯状疱疹 4件 8000 円
- トキソプラズマ

- 血液検査 6000 円

貧血、CRP、生化学（肝臓、腎臓、コレステロール、血糖）
糖尿病（HbA1c）マイクロゾーム抗体

- 推奨1）：基本セット＋子宮頸癌健診＋感染症（a～d） 28000 円
- 推奨2）：推奨1）＋乳癌健診（新エコー＋触診＋指導） 38000 円
- 推奨3）：推奨1）＋血液検査 34000 円
- 推奨4）：推奨1）＋乳癌健診＋血液検査 44000 円
- 推奨5）：全て 50000 円

（消費税は含まれておりませんので最後に5%を足してください）

a) 風疹 (ふうしん)

妊娠中に風疹に感染すると先天性風疹症候群(白内障、難聴、心奇形など)を発症することがあります。風疹の抗体価が低い方(16倍以下)は予防接種を受けることをお勧めします。

b) 麻疹 (はしか)

麻疹は子供の病気と考えられがちですが麻疹ワクチン接種を受けた大人もかかることがある怖い病気です。妊娠した時に免疫が弱くなっていれば母体が麻疹にかかったり赤ちゃんが乳児期に麻疹にかかる可能性が高くなります。

c) ムンプス (流行性耳下腺炎 おたふくかぜ)

合併症として成人女性の約5%に卵巣炎、約30%に乳腺炎がみられます。妊婦さんでは流産や早産の危険性を高めます。また1000~15000人に1例の割合で不可逆性難聴(通常、片側性で障害は高度です)を発症しますが今のところ治療方法はありません。

d) 水痘帯状疱疹 (みずぼうそう)

妊婦さんの死亡率は10~20%で肺炎を併発するとそれが40%にもなります。また出産直前に発病すると生まれた赤ちゃんは新生児水痘になる危険性があり死亡率も30%と高率です。

e) トキソプラズマ

先天性トキソプラズマ症(水頭症や頭蓋内石灰化、網脈絡膜炎など)は妊娠の数ヶ月前あるいは妊娠中に初めてトキソプラズマに母親が感染すると発症します。残念ながらワクチン(予防接種)はありません。抗体陰性の妊婦さんは①生の鳥獣肉の摂取や加熱処理不十分な食肉の摂取を避ける、②ガーデニングなどの土壌いじりの際には使い捨ての手袋を用い終了後は温水で十分に手を洗淨する、③生野菜を食する際は十分に洗淨する、④海外旅行を控える(特にフランス、アメリカ、カナダ)ようにしてください。

f) サイトメガロウイルス

先天性サイトメガロウイルス(CMV)感染症は、乳幼児に神経学的後遺症を引き起こす最も頻度の高い周産期ウイルス感染症です。しかしワクチン(予防接種)や治療方法がないため当院では検査をお勧めしておりません。

(抗体が低い方は妊娠前に予防接種を受けるようにしましょう。生ワクチン接種後は2ヶ月以上の避妊が必要です。妊婦さんのワクチン接種は禁忌となっています。)

②避妊方法（失敗率：避妊を行っていて100人が1年間の間に妊娠する確立）

- 1) 低用量ピル 失敗率 完全な使用 0.1% 一般的な使用 3%
- 2) コンドーム 失敗率 14%
- 3) 子宮内避妊器具
 - FD-1（通常） 失敗率 3% 31500円(消費税1500円)
 - マルチロード（胴付） 失敗率 0.1~2% 36750円(消費税1750円)
 - ミレーナ（プロゲスチン含） 失敗率 0.14% 105000円(消費税5000円)

（感染症を予防できるのは**コンドーム**だけなので併用することが望ましい）

緊急避妊法（100%ではないので月経（生理）がこない場合は受診してください）

- 1) 高容量のホルモン剤（エストロゲン+プロゲスチン）を性交後72時間以内に服用する（有効性75%）
- 2) 排卵後5日以内に胴付き子宮内避妊器具の装着（胴付で有効性99%）

③葉酸

葉酸とはビタミンB群の一種の水溶性ビタミンで、赤血球や胎児の正常な発育に寄与する栄養素です。妊娠の2か月以上前から妊娠4か月（少なくとも3ヶ月）の時期に1日400μg葉酸を摂取することで脊椎の病気（二部脊椎や髄膜瘤など）を減らすことができます。葉酸は緑黄色野菜（ほうれんそう、ブロッコリー、アスパラガスなど）に多く含まれていますが加熱などによって失われやすいため食物だけで必要量を摂取することは難しいのでサプリメントの利用が効果的です。

④BMI（Body mass index） 身長²に対する体重の比で体格を表す指数

自分のBMIを計算してみる。 $BMI = \text{体重 (kg)} / \text{身長 (m)}^2$

BMI	判定	妊娠中の望ましい体重増加
<18.5	やせ	9~12 kg
≥18.5~25>	普通体重	7~8 kg
≥25~30>	肥満1度	5 kg
≥30~35>	肥満2度	
≥35~40>	肥満3度	
≥40	肥満4度	

妊娠する前のBMIが、35.0以上40.0未満（肥満3度）

妊娠・出産するのは危険です。まずはダイエットで適正体重にもどしてからが望ましい
分娩は病院で行うことをお勧めします

妊娠する前のBMIが、40.0以上（肥満4度）

妊娠・出産するのは危険です。まずはダイエットで適正体重にもどしてから
当院での妊婦健診、分娩は不可能です。総合病院での周産気管理、分娩をお勧めします。

◎子宮内容物：4.05Kg

（胎児：3.2Kg 胎盤：0.5Kg 羊水：0.35Kg）

◎母体必須体重増加：3.25Kg

（子宮増大。乳房肥大。循環血漿量、細胞外液量の増加。）

合計＝7.3Kg

⑤妊娠わかったら

1) いつ病院を受診するか？

最終月経（生理）からだいたい6週間後（生理の始まる予定の約2週間後）に受診してください（込み合う産院では予約が取れなくなることも有ります。各施設にご確認ください）。妊娠5週ごろから胎嚢（たいのう）が超音波で丸く黒い円として写ります。胎嚢が見えないときは子宮外妊娠を疑い調べることになります。

2) アルコール

妊娠中の女性が飲酒すると胎盤を通じてアルコールが胎児の血液に流れ込みます。胎児はアルコールを分解するのに時間がかかるため母体よりもさらに影響を受けます。妊婦が大量に飲酒すると胎児性アルコール症候群(FAS：(1)特徴的な顔貌(不明瞭な人中／薄い上唇／短い眼瞼裂など) (2)発育の遅れ (3)中枢神経の問題 という3つの兆候)をはじめとする深刻な障害につながる場合もあります。どのくらいの量なら大丈夫という目安は現時点では不明です。個人差が大きいので**安全のためには妊娠中はアルコール類を飲まないようにしましょう。**

ただし、妊娠に気づく前に飲んでいたというのはよくあることで、その場合には、**これから飲まないようにすることが大切です。**器官形成期である妊娠初期さえ気をつければ、中期・後期は飲んでもいいという説がかつてありましたが、脳はむしろ後期にかけてめざましく発達します。その発達を阻害しないよう、**妊娠全期間を通じてアルコール類は避けましょう。**

授乳期に飲酒すると……

母乳にアルコールが含まれ赤ちゃんに飲酒させることになってしまいます。

授乳期にも絶対に飲酒はさけましょう。

3) たばこによる妊娠異常

タバコは赤ちゃんの成長が悪くなったり、お母さんの血圧が上がったり生まれてきてからの突然死が多いことがわかっています。他にも早産、出血、破水、前置胎盤、常位胎盤早期剥離、周産期死亡（妊娠 28 週以後の死産や生後 1 週間未満の死亡 1.2～1.4 倍）などが起こりやすくなります。これらの異常は、いずれも たばこを吸う量と深い関係があります。夫が喫煙者である場合も、そうでない場合に比べ妻の異常妊娠の割合が高くなります。

また赤ちゃんを育てるお部屋でタバコを吸っていると突然死の確率が増えます。絶対に妊娠中、授乳中はタバコを吸わないようにしましょう。

この機会にぜひ禁煙してください。

⑥サーバリックス（子宮頸がんのワクチン）

子宮頸がんの原因はほぼ 100%がヒトパピローマウイルス（HPV）の感染であることがわかっています。子宮頸がんの原因である HPV は皮膚と皮膚（粘膜）の接触（主に性交渉）によって感染します。しかし発がん性の高い HPV は女性の約 80%が一生に一度は感染していると報告があるほどとてもありふれたウイルスです。このため性交渉のある女性すべてが子宮頸がんになる可能性を持っています。

サーバリックスは HPV の中でも子宮頸がんの原因として最も多く報告されている 16 型と 18 型の感染を防ぐワクチン（病気の原因となる細菌やウイルスなどを弱毒化したり不活化してあらかじめ接種することにより病気を防ぐ医薬品）です。

3 回（初回接種後 1 ヶ月後と 6 ヶ月後）のワクチン接種で長期（20 年間）にわたってからだを守ることが可能です。しかしすでに今感染している HPV を排除したり、子宮頸部の前がん病変やがん細胞を治す効果はありません。あくまでも接種後の HPV 感染を防ぐものです。

またサーバリックスに含まれるウイルスには中身（遺伝子）がないので、接種しても感染することはありません